



尖閣領有権、中国と談判すべきでは？

プーチンはクリミア半島を二〇一四年に奪取。そして今ウクライナ西部を奪おうと侵略。各国は「制裁」と云うが外になす術がない。

習近平はその国際情勢を見て南シナ海に進出強化。更に東シナ海では尖閣諸島を窺う。

二〇一二年、私有地だった尖閣が国有化された。中国は灯台や基地の建設の第一歩と看做してか、猛反発。

中国の海上警察「海警」は日常的に尖閣付近の領海に侵入。

これに対し、政府は自衛隊に水陸両用戦車数十台を配備。尖閣を占領されたら武力で奪還する準備をしている。

こんな軍事的対応をとるより、中国と談判して日本の領有権を認めさせれば良いのだ。これまでの歴代政権はきちっと日本の主張をぶつけていない。

歴史的には 一八九五年、日本は無人島の尖閣諸島を沖縄県に編入。鯉節工場が作られ、日本人が居住。日本が実効支配。

日清戦争で日本が中国から奪った台湾等は、大戦後、中国に返還されたが、尖閣諸島は話題の対象外。一九五三年の「人民日報」は米軍占領に対する琉球群島の人民の闘争を紹介。「琉球群島は、尖閣諸島、先島諸島：沖繩諸島：よりなる」と書いてある。中国は七一年から、尖閣諸島の領有権を主張し始めたが、それ以前の中国や台湾の地図では尖閣諸島は中国の国境線の外。

軍備増強は軍需産業、特に米国の兵器産業を利するだけ。証拠を示し外交で解決を。あなたはどう思われますか？

舞岡 照空 灯 遺 跡

横浜市戸塚区舞岡

二〇二二年九月

横浜市営地下鉄舞岡駅西方、丘の墓苑工事に先立って遺跡の発掘調査が行われた。

これは舞岡ふるさと森入口の谷戸からその丘を眺めた絵。工事が開始され、発掘現場には近寄れない。

縄文時代の遺跡の他に第二次大戦当時の戦争遺跡も見つかった。

その遺跡とは、首都圏を爆撃しに飛んで来るB29を撃墜する為の陣地。当時、未だレーダーは無かった。大きなラッパのような聴音機で飛行機の爆音を捉え、方向を確認すると、その方向に照空灯IIサーチライトを向ける。

B29を捉えると、近くの陣地の高射砲が火を噴く。

照空灯が余りにも明るいので、傍で操作すると目が眩んでしまう。少し離れた所から遠隔で操作していたようだ。



真っ暗な空を照空灯が照らしB29を捉える。

